



# あまくさ

# 市議会だより

第31号  
2020年2月号



空手クラブの初稽古



保育園児の初詣



鳥峠（御所浦）からの新春の眺め



正月を迎え飾り付けられた牛深港の漁船

## 令和になって初めての迎春

令和になって初めての新春を迎え、各地では、おだやかな陽気の中、新春ならではの光景が見られました。

### 主な内容

- 補正予算の主な内容 ..... P 2～4
- 一般質問 ..... P 8～12
- 政務活動報告 ..... P 14～15

こんなことを  
話し合い  
決めました

令和元年第4回定例会は、12月3日(火)から12月20日(金)の18日間の会期で行いました。条例の改正や補正予算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決、承認、同意しました。

今回の議案等は47件

※議案一覧は6ページに掲載。

- 報告 …………… 2件
- 承認 …………… 2件
- 条例 …………… 9件
- その他 …………… 11件
- 予算 …………… 12件
- 人事 …………… 8件
- 議員提出 …………… 1件
- 請願 …………… 2件



TOPIC  
01

令和元年度一般会計補正予算(第7号)

東京2020オリンピックピック聖火リレーを開催!

東京2020オリンピックピック聖火リレー開催事業を含む  
一般会計補正予算を可決

16億1,209万6千円を増額し、総額574億601万5千円とする令和元年度天草市一般会計補正予算(第7号)は、12月11日に予算決算委員会審査を行いました。

今回の補正では、東京2020オリンピック聖火リレーの開催に伴う県実行委員会への負担金やふるさと応援寄附金の見込額増に伴い、業務委託

料などで予算不足が見込まれる事務経費が計上されました。

また、ASF(アフリカ豚コレラ)の養豚農場への侵入を防ぐための防護柵整備の補助金なども計上され、原案どおり可決されました。主な補正予算の内容や質疑については、次のページでご紹介します。



東京2020オリンピックピック聖火リレー開催に伴う県実行委員会負担金  
1,117万6千円を増額

内容

今年5月6日〜7日に県内で行われるオリンピック聖火リレーが本市でも6日に行われることが決定しており、費用については、県と市町村で負担することとなっているため、補正する。

質疑

問 本市の聖火リレーのコースは。

答 天草市民センターをスタートし、本戸公園をゴールとする約2・6キロメートルのコースで実施され、13〜16人でリレーを行う。

問 聖火リレーにかかる負担金が高額では。

答 警備員の費用、交通規制にかかる作業及び資器材等が主であり、最大限の費用で計上しているが、余剰金については返還される。

問 本市で聖火リレーを行うランナーの選定は。

答 ランナーの選定(県実行委員会)は、県実行委員会で行うこととなっており、市として直接関係とはできないが、県や本市にゆかりがある人を選定するよう強く要望した。ランナーは、県実行委員会会員のほか、スポンサー枠により選定されることとなっている。

要望 市内の業者で対応できる業務については、できるだけ市内の業者に依頼すること、資器材等については、市の備品等を活用するなど、できるだけ経費削減に努めるよう要望する。

ふるさと応援寄附金の見込額増に伴い、業務委託料等の予算を増額  
6,321万6千円を増額

内容

ふるさと応援寄附金の額が当初の計画を上回ることに伴い、業務委託料等の事務経費の不足が見込まれるため、補正する。

- ・ふるさと応援寄附金の見込額  
補正前 3億円  
補正後 4億円(1億円の増)

質疑

問 お礼品の中で一番人気があるのは何か。

答 天草黒牛の人气が高く、寄附金増額のけん引役となっている。

問 ふるさと納税事務を業務委託ではなく直営で行う考えはないのか。

答 現状の限られた職員の中では、対応が難しい。

アフリカ豚コレラの養豚農場への侵入を防ぐための防護柵整備に係る補助金  
2,000万円を増額

内容

アジア地域で急拡大しているASF(アフリカ豚コレラ)の養豚農場への侵入防止を目的に、野生動物侵入防護柵の整備に対し、国・県にあわせて市でも支援を行うため、補正する。

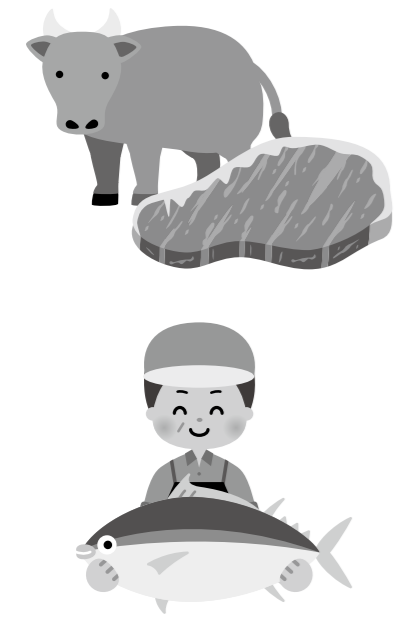
質疑

問 アフリカ豚コレラが国内に侵入する場合、どのような経路が想定されるのか。

答 海外からの旅行者が違法に畜産物を持ち込む場合や、海外からの航空機や船舶の機内食の残渣が適正に処理されず、野鳥やネズミの食害により、ウイルスが広がるのが想定される。

問 国内侵入を防ぐ手段として、養豚場周辺に防護柵を設置する意味は。

答 まずは、ウイルスを国内に侵入させない取り組みが重要となるため、国においても検査など水際対策の強化を行っているが、防護柵については、仮に国内に侵入した場合でも、ウイルスを直接媒介するイノシシを豚に近づけないことを目的に設置する。



## TOPIC 02

令和元年度一般会計補正予算(第8号)  
**新庁舎建設にかかる設計報酬等請求事件  
 の和解条項に基づく損害賠償金を補正**

1,626万8千円を増額し、  
 総額574億2,228万3千円に

**内容**  
 本庁舎設計業務委託契約の解除に伴い、平成28年に提訴を受けた設計報酬等請求事件について、11月に裁判所から和解勧告が出されたことから、和解条項に基づく損害賠償金として1,626万8千円を補正する。

**和解勧告の内容**  
 本契約は、基本設計業務と実施設計業務を一括で契約しており、基本設計業務は完了していたものの、実施設計業務については、どの程度まで踏み込んで行われていたかということが争点の一つとなっていました。  
 裁判所からの和解勧告では、基本設計業務及び実施設計業務を通じた履行分を42・5%。そのうち、実施設計業務履行分を7・5%と



## TOPIC 04

宮地岳観光交流施設  
**施設のオープン  
 は今年10月以降に**

**宮地岳観光交流施設の  
 現状についての報告**  
**国道からの接続道路を  
 再検討**

現在、整備が進められている宮地岳観光交流施設の進捗状況について、所管の建設経済委員会に報告が行われました。  
 報告の内容は次のとおりです。  
**施設運営**  
 地元の宮地岳地区において出資を募り、会社設立に向け準備を進められている。  
**施設整備**  
 施設本体の改修工事等については、11月末に工事請負契約を締結したとのことであり、トイレ棟の新設工事や用地造成工事についても設計が完了し、順次発注を行っていく。  
**今後のスケジュール**  
 トイレ棟の新設工事の適正工期を確保するため、施設の開業は今年10月以降に変更となった。



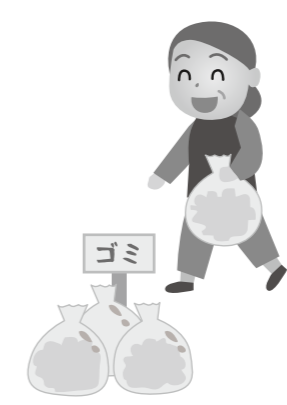
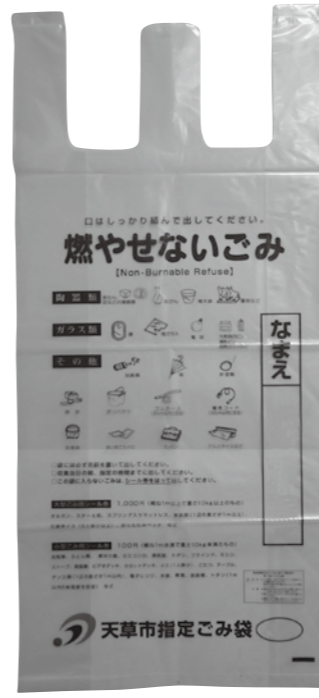
▲宮地岳観光交流施設完成イメージ図

## TOPIC 03

今年4月から  
**有料指定ごみ袋に燃やせない  
 ごみ袋の「小」を作製**

現在の燃やせないごみ袋の  
 半分の容量のサイズを作製

**内容**  
 現在、「燃やせるごみ」については、4種類(特大、大、小、特小)の有料指定ごみ袋を作製しているが、「燃やせないごみ」については、1種類の袋のみとなっている。  
 しかし、少子高齢化が進むなか、高齢者世帯や一人暮らし世帯では、燃やせないごみ袋が大きく、月1回の収集日までに一杯にならないなどの状況も発生していることから、現在の袋の半分の容量(小)を作製する。  
**質疑**  
 燃やせないごみの指定袋「小」を作製することによる効果について。  
**答**今後、少子高齢化が進むなか、需要が見込まれる。また、ごみステーションに運ぶ際の負担軽減にもつながる。



## TOPIC 議員研修

全議員を対象に研修会を実施  
**課題を解決、未来を  
 創り出す議会へ**

10月4日、第1委員会室において、全議員を対象にした議員研修会を実施しました。  
 今回は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を講師に招き、「市民の期待に応える天草市議会」と題して講演をしていただきました。  
 講師からは、議会改革度調査分析結果などを用いて、急速な時代変化に対応した地方議会の役割について説明がありました。  
 講演では、「目標が明確になると思考が変わり、行動が変わる。関係する人が同じイメージを持つゴール設定が大事」、「地域の変化を読み、地域の変化に対応し、地域に变化を創り出す議会活動を」との話があり、あらためて地方議会としての役割を学びました。  
 今後も議員力の向上を旨として、各種研修を実施していく予定です。



▲議員研修会の様子



# 一般質問

一般質問が12月16日、17日の2日間で行われ、9人の議員が質問に立ちました。

※掲載原稿は質問した議員本人が要約したものです。

QRコードで質問の動画が見られます。

通番	質問者	質問事項
9	浜崎 昭臣	③本渡・牛深間片側30分構想について
8	浜崎 義昭	③ジオパークについて ②自治体病院の役割について ①有害鳥獣対策について
7	中村 三千人	③指定管理のあり方について ②小型合併浄化槽について ①住宅地の確保について
6	五嶋 善彦	③移住定住の促進と周辺地域の活性化について ②水産業の振興策について ①農業(柑橘類)の振興策について
5	赤木 武男	③子どもの防犯対策について ②子どもの眼科検診について ①子育て支援策について
4	五通 俊作	③がん対策の充実について ②骨髄バンクドナー登録について ①在宅医療の普及について
3	蓮池 良正	③男女共同参画を推進して人口増加に転じるまちづくりを ②ごみ減量化と温暖化防止 ①安心して住めるまちづくり
2	中尾 友二	③スポーツコミッション等について ②天草市中央保健福祉センター跡地について ①文化財の保存と管理活用等について
1	柴田 誠	②広瀬公園について ①天草市版ネウボラについて

QRコードで質問の動画が見られます。

**中尾** 寄託資料の板ガラスの破損の状況は。  
**文化課長** 平成24年に企画展の展示資料としてお預かりし、お返しする際、平成26年に破損を確認した。所有者にお詫びするとともに修復方法についてご理解いただき修復に取り組んだ。その後、資料を確認いただき、ご了承の上お返しした。なお、1月から3月に開催した企画展においてお願いしたところ快くお貸しいただいた。  
**中尾** 祇園橋の景観及び通行止めや今後のあり方。  
**文化課長** 祇園橋の石材の一部が崩落のため、工事用パネルを応急的に設置し通行止めの措置をとっているが、指摘のとおり国指定文化財であるので、土木課とも協議し、文化財保護審議会に諮ったうえで景観に配慮した柵の設置を検討している。通行に関しては人命第一で通行禁止とし、見る文化財として保存継承したいと考えている。



中尾友二議員

●文化財の保存と管理活用等について  
 ●スポーツコミッション等について



▲国指定文化財の祇園橋

**中尾** スポーツコミッションの運営団体の構築は。また運営団体の活動に対する支援は。  
**市長** 行政と既存団体との連携のみならず、新たな組織なども見据えて民間のアイデアや活力を入れながら、スポーツコミッションがスポーツによる地域づくりの一役を担えるような組織体制づくりを進めたい。スポーツコミッションは地域活性化を推進する中核となる組織であり、市としても必要な支援を行う。  
 ※スポーツコミッション：スポーツ大会の開催や合宿、キャンプ誘致などに取り組む官民一体型の組織。



蓮池良正議員

●男女共同参画を推進して人口増加に転じるまちづくりを



【女性の貧困】を克服していく課題の検証】  
**なぜ、女性の給与・賃金が安い**  
**蓮池** 全階層的にも九州ブロックは、給与水準が低い。全体水準が低いのに、女性分野はさらにその7〜8割程度にとどまっている。公務員の給与水準は男女同額だが、昇進具合によって、給与・手当などに反映し、歴史的にも現在も、データを算出すれば女性が低くなっているのは。民間でもそういう実態は否めず、男女共同参画社会の形成を旨とする地方自治体として本市もこの分野にはとりわけ配慮すべき。  
**男女共同参画課長** 家庭内労働は女性が当然視され、身分が不安定で、低賃金非正規労働が多い。  
**蓮池** 人口の半分以上は女性であり、女性の方々を含めてそれぞれの気づき、より生かされる社会が求められる。男女共同参画社会創造にどのようにつなげていくか。



**地域振興部長** 本市が平成19年2月17日に男女共同参画宣言都市となつたことを踏まえ、2月17日を含む1週間を本市の男女共同参画週間と位置づけ、期間中に「超高齢化社会から考える男女共同参画」についての講演会などを開催する予定。今後も意識啓発やあらゆる分野における意思決定過程への女性の参画拡大を推進する。



柴田誠議員

●天草市版ネウボラについて  
 ●広瀬公園について



**柴田** 天草市版ネウボラとしての子育て支援包括センターの機能と役割について。  
**健康福祉部長** 妊娠期から子育て期にわたるまで、必要な情報を共有し切れ目なく支援する。妊産婦等に対し支援プランを一緒に考え、妊娠期からのかかりを充実していく。また、平成30年度から実施している産後ケアの充実を図るとともに、「産前産後サポート事業」や経済的支援により出産を支援する「助産制度」の活用を合わせて図っていく。  


**柴田** 不育症について市の考えは。  
**健康福祉部長** 不育症など、複数回の流産により精神的なストレスなどが考えられる。妊婦健康診査の受診率向上とともに、主治医との連携や保健師等の訪問などにより体制を強化していく。  
**柴田** 広瀬公園野球場のスコアボード、公園内の車道幅、遊具について。  
**建設部長** スコアボードや防護ラバーのほか、遊具や園路について「天草市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、今後計画的に改善を図る。幅員を阻害している箇所については、早急に剪定作業を行い道路有効幅員の確保を図る。  
**柴田** 改修等の財源として民間の広告収入を得ることはできないか。  
**総合政策部長** 公共施設の壁面など様々な広告媒体としてとらえ、収入につながるよう、引き続き全庁的に進めていく。

五通 俊作 議員

- 在宅医療の普及について
- 骨髄バンクドナー登録について
- がん対策の充実について



【在宅医療の普及について】

五通 地域住民が在宅医療について理解を深め利用を広めるために、正しい知識の普及啓発が重要と考えるが市の考えは。

健康福祉部長 市内11地域で、医師や訪問看護師を講師とした在宅医療やみとりに関する住民講座を実施している。

【骨髄バンクドナー登録について】

五通 ドナー登録者を増やすために、提供ドナー助成制度を検討する考えは。

健康福祉部長 今のところ、本市独自で助成制度を創設する予定はない。

五通 ドナー提供者の方やその家族の方々の側に立って、気持ちに寄り添い、今後検討されるよう要望する。

【がん対策の充実について】

五通 がんの治療で抗がん剤の副作用に脱毛がある。女性のがん患者の方がよく使用される医療用ウィッグは高額のものが多く、経済的負担も大きくなる。女性の精神的負担を軽くするために、購入費用の補助の考えは。



健康福祉部長 がん相談支援センターでは、脱毛に悩む方にウィッグ無償貸与を実施している「夏目雅子ひまわり基金」を紹介している。現段階では、医療用ウィッグ購入費用の補助は考えていない。

五通 市民の声を聞き、検討いただくよう要望する。

赤木 武男 議員

- 子育て支援策について
- 公立幼稚園の預かり保育の実施と子どもの防犯対策について



【子育て支援策について】

赤木 10月に幼児教育・保育の無償化がスタートした。公立・私立の保育料は無償化になれば、公立の幼稚園の預かりは可能になると思えるが、令和2年度から取り組みないか。

市長 預かり保育の実施は、関係機関と協議を進めた承が得られれば、令和2年度から試行的に実施したい。

【公立幼稚園の預かり保育の実施と子どもの防犯対策について】

赤木 預かり保育の実施により保護者にとっては幅広い保育環境が考えられるが。

健康福祉部長 就労形態が多様化するなか、新たに就労できることや勤務時間の延長などが予想される。

赤木 副食費(おかず代)の免除を実施している自治体もあるが、市は免除拡大を考えていないのか。

健康福祉部長 国は年収360万円未満相当の世帯等の子どもについては免除している。さらに、市では18歳未満から数えて第3子以降の副食費をすでに無料にしている。



赤木 子ども達にスマホ・携帯電話等の使い方、その危険性を教えるべきではないか。

教育部長 学級活動時間等で、携帯電話等について講師を招き講座などを実施している。

赤木 入学時に防犯ブザーを配布しているが、電池切れなどではないかと。点検はどうされているのか。

教育部長 基本的には保護者が点検・管理していただくよう周知している。

五嶋 善彦 議員

- 農業(柑橘類)・水産業の振興策について
- 移住定住の促進と周辺地域の活性化について



【農業(柑橘類)・水産業の振興策について】

五嶋 「人口減少への対策」をテーマとして、課題の観点から質問。大きな製造業のない本市においては、一次産業と観光産業の振興が人口対策の根本と考える。また、周辺部の振興を図ることが、中心部の発展、そして、全体の発展につながると思う。そこで、まず、①周辺部の急激な人口減少と疲弊対策、②今後の人口減少への対応、③移住・定住促進事業の今後の展望、この3点について伺う。

【移住定住の促進と周辺地域の活性化について】

市長 中心地域では、圏域全体の暮らしに必要な都市機能の整備・確保、近郊地域では、支所機能の充実を図り、地域の要望に対応できる体制を整えてきた。また、アマビズや物産公社を設置し、仕事づくりにも取り組んできた。今後も、産業部門での担い手の「育成・確保」対策を集中的に行う。移住・定住促進事業では、人口の確保も図られ、移住者が地域の担い手として活躍されている。今後も、本市の宝をPRしながら推進していく。



▲デコポンの屋根掛けハウス(高品質、高収量、高収入に有効)

【移住定住の促進と周辺地域の活性化について】

五嶋 本市農業の基幹作物である柑橘類の振興と水産業の振興を図ることが人口施策に有効と思うが、その振興策について伺う。

【柑橘類の振興策について】

経済部長 柑橘類の振興では、基盤整備や施設化、新規就農者育成の取り組みを強化し、水産業の振興では、資源確保とともに、新規漁業就業者確保の取り組みを推進していく。

中村 三千人 議員



- 住宅地の確保について
- 小型合併浄化槽について
- 指定管理のあり方について



【住宅地の確保について】

中村 市有地に宅地造成は考えられないか。

市長 新和町の福祉ゾーンのそばに市有地があるが、背後地の傾斜が急なため、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定される確率が高い。また、市内には、4,868カ所がレッドゾーンに指定されている状況であることから、移転対策として、市が宅地を造成し、分譲することは考えていない。

【小型合併浄化槽について】

建設部長 譲渡することが適当と判断した場合は、議決を経たうえで普通財産に移管し対応する。

【指定管理のあり方について】

中村 新和町を含む3町は、今も市町村設置型浄化槽であるが、令和8年でこの事業を終える。その後は、個人設置型浄化槽に移行するが、今後も、この事業同様の個人負担を軽減できる制度を考えているか。

建設部長 譲渡することが適当と判断した場合は、議決を経たうえで普通財産に移管し対応する。



▲新和町の福祉ゾーンそばの市有地

【指定管理のあり方について】

市長 令和9年から市全域で個人設置型に移行するが、最低限の施設整備を行ったうえで譲渡をしたほしい。

【指定管理のあり方について】

中村 収益が目的に含まれる施設は期限を定め、民間譲渡を考慮すべきではないか。総合政策部長 民間譲渡も含め、検討を進めていく。

QRコードで質問の動画が見られます。

QRコードで質問の動画が見られます。

# 一般質問



浜崎 義昭 議員

- 有害鳥獣対策について
- 自治体病院の役割について
- ジオパークについて



**浜崎** 捕獲隊員は、有害鳥獣の捕獲に多くの時間と労力を要するが、それ以上に捕獲後の処理に最大の負担が強いられる。高校跡地や他の場所も含め早急に処理計画を立てることが求められる。有害鳥獣堆肥化装置導入を全国に先駆けて取り組むことを要望する。

**経済部長** 関係者と協議を行っていく。

**浜崎** 厚労省の公立病院の再編・統合発表後、全国の自治体で病院長をはじめ、議会・自治体の長が「地域の実情を考えずに、これまでに自治体病院が行ってきた努力や地域の事情が全く考慮されていない」と声を上げている。自治体病院存続の決意を求める。

**病院事業管理者** 地域に必要とされる医療体制確保に努める。

**浜崎** 日本ジオパークの認定返上後、市民全員を巻き込み作り上げていく参加型のものにしなければならぬ。天草には、魅力的な自然資源がたくさんある。ジオパークは、地球活動が生み出した地形や地質だけでなく、それらと深くかかわりのある人々の暮らしや歴史、食べ物も対象になる。新しいモデルケースとして、全国に広がる取り組みとなるような活動を期待する。

**市長** ジオパークに代わり、新たに「海にかぶ博物館あまくさ」として2市1町で取り組み、今後、教育やガイド活動等の質の向上、自然環境保全・保護活動のさらなる推進を図る。



▲御所浦の島々



浜崎 昭臣 議員

- 天草夕陽観光について
- 久玉城跡について
- 本渡・牛深間片側30分構想について



**「天草夕陽観光について」**  
**浜崎** 天草夕陽八景それぞれの今後の整備計画について問う。

**観光文化部長** 「マリア像の夕陽」は照明配線の改修について発注に向け準備を進めている。撮影スポットの足場整備については安全に撮影ができるよう対策を検討する。

**市長** 「下田の夕陽」は移転も視野に入れ検討する。「魚貫・黒石の夕陽」は現地を確認し、防護柵が必要となれば設置する。「小森海岸の夕陽」は説明看板や誘導看板の設置を検討する。「拝瀬・鳴瀬の夕陽」は移転等について地域の方々と協議をしていく。

**「久玉城跡について」**  
**浜崎** 城跡の復元はできないか。

**市長** 歴史的価値は高いと認識している。まずは、地元の方々に久玉城跡の存在と歴史的価値を知ってもらうための取り組みをしていきたい。

**「本渡・牛深間片側30分構想について」**  
**浜崎** 上りか下りのいずれか片方の植樹帯を撤去処分して車道に変え、片側だけを2車線にし、耕作放棄地等を直線化すれば現実味を帯びると思うが。

**建設部長** 新たな取り組みが必要となれば、県へ要望を行う。天草地域国道路整備促進期成会を通じて、ゆずり車線の設置を含む、国道道の整備促進について県や県議会に対し、引き続き強く要望していく。



▲マリア像の夕陽



## シリーズ

# 追跡指令

### 気になる！一般質問のその後!!

#### 今回の指令

#### LGBTなどの性的少数者についての人権啓発の取り組みのその後を追跡せよ!!



LGBTなどの性的少数者の人権に対する社会的関心が急速に高まってきたなか、平成30年第4回定例会の一般質問において、この件に関する市の取り組みについて説明を求めたところ、中村市長より、「本市が定める各種申請様式の性別記載欄の必要性の検討や見直しについて、全庁的に状況把握を行う」との答弁が行われた。

今回は、「LGBTなどの性的少数者についての人権啓発の取り組み」のその後を追跡し、報告せよ!!

#### LGBTなどの性的少数者についての人権啓発の取り組みに関する追跡調査報告書

全庁的に状況把握を行うとの答弁が行われた直後の平成30年10月には、本市の基本的な考え方に基き、当事者支援に係る、まずできる取り組みとして、本市が定める各種申請等の様式の性別記載欄の検討や見直しを行うことを目的に、「申請書等における性別記載欄に関する調査」が行われました。

その結果、今年1月から、各種申請等の様式の性別記載欄は、法令の定めなどで廃止ができないものを除き、削除されることとなりました。

なお、市職員に対する取り組みとしては、平成30年11月に、市人権教育・啓発基本計画に掲げる人権課題の一つであるLGBTなどの性的少数者に対する正しい知識を持つとともに、その抱えている困難等についても十分に理解し、市民に寄り添った適切な対応を行うため、理解促進と啓発を目的に人権に関する管理職研修会が開催されました。

また、昨年10月には、全職員を対象とした研修会も開催されました。

**LGBTとは・・・**  
L：レズビアン(女性の同性愛者)、G：ゲイ(男性の同性愛者)、B：バイセクシャル(両性愛者)、T：トランスジェンダー(「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人)、それぞれの英語の頭文字からとったセクシャルマイノリティー(性的少数者)の総称の一つです。昨今、生まれながらの性別にとらわれない性別のあり方が見直され、世界中で同性間の結婚や、結婚と同様の権利を認める動きが活発化してきています。

～市民向け人権セミナーも開催されます～

- テーマ 「ひとりぼっちをつくらぬ地域づくりを性の多様性から考える～LGBTって?～」
- 講師 くまにじ代表 (阿蘇ひまわり基金弁護士) 森 あいさん
- とき 2月15日(土)午前10時～正午まで
- ところ 天草市民センター2階大会議室
- 問合せ先 市男女共同参画課 ☎23-8200

## 天草市議会を傍聴してみませんか

市議会定例会の本会議や常任委員会は、どなたでも傍聴することができます。

また、直接議場へ来ることができない場合でも、本会議はケーブルテレビやホームページで継ぎを行っています。

※次の定例会の日程は以下のとおりです。

**傍聴に行くには**  
天草市役所3階の議場で行われています。

**中継を見るには**  
ケーブルテレビ、天草市議会のホームページをご覧ください。ホームページは、天草市議会のホームページから、インターネット中継へお進みください。

※市のホームページは、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでもみることができます。

期日	会議	議事日程
2月25日(火)	本会議	開会 施政方針・提案理由の説明
2月28日(金)	本会議	質疑
3月2日(月)	休会	市民生活委員会 建設経済委員会
3月3日(火)	休会	総務政策委員会 教育厚生委員会
3月4日(水)	休会	予算決算委員会 (補正予算)
3月9日(月)	休会	予算決算委員会 (当初予算)
3月10日(火)	休会	予算決算委員会 (当初予算)
3月11日(水)	休会	予算決算委員会 (当初予算)
3月12日(木)	休会	予算決算委員会 (当初予算)
3月16日(月)	本会議	一般質問
3月17日(火)	本会議	一般質問
3月18日(水)	本会議	一般質問
3月19日(木)	本会議	委員長報告 討論 採決 閉会

**令和2年2月定例会 会期日程(予定)**

令和元年10月31日～11月2日

市民クラブ（益田政昭・下田昇一郎・五嶋善彦・澤井一富）

## ◆認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター

【ふるさと回帰支援センターについて】

1. ふるさと回帰支援センターの現状について
2. 移住希望者のニーズと傾向について
3. 移住・定住に対する国の方針について
4. 熊本県への移住希望者の傾向について

## ◆中央大学理工学研究所

【亜臨界水資源再生装置技術について】

1. 亜臨界水資源再生装置の機能性とコスト及び実績について
2. 亜臨界水資源再生装置実装方法について
3. 亜臨界水資源再生装置の普及促進について

## ◆第15回地域医療政策セミナー

講演1 「“患者流出”>“流入”医療圏におけるイノベーション

～目指すべき方向の明確化とPFIの活用～

講師 八尾市立病院 総長 星田四朗 氏

講演2 「超高齢社会に求められる地域医療のかたち」

講師 医療法人社団悠翔会 理事長 佐々木淳 氏



◀亜臨界水資源再生装置について語る松下潤中央大学理工学研究所博士(右)

ふるさと回帰支援センター内に設置された熊本県ブース(右端が天草市)▶

## 視察報告

ふるさと回帰支援センターでは、関東圏から全国の地方への移住・定住をサポートされていますが、本市における移住・定住に対する取り組みに対しては大変高い評価をいただいております。今後も本市の担当と共によりしっかりとサポートしていただくよう強く要望を行いました。

また、今回我々会派で以前から着目しているごみ処理方式「亜臨界水資源再生装置」の第一人者・松下潤博士から直接お話を聞いたことは大変有意義な時間でありました。今後のごみ処理に関する新たな方向性として引き続き着目していかなければならないと強く感じました。

また、4カ所の市民病院をもつ本市として「地域医療」のあり方について、市民病院を経営する立場と在宅医療の現場からといった違った視点から研修の機会をいただきました。



## 視察を終えて

今回の視察では、「移住・定住の推進」「今後のごみ処理問題」「地域医療のあり方」などについて学びました。いずれも今後の本市において重要な課題であります。今回学んだ知識や人脈を今後の議員活動に生かしてまいります。

## 広報広聴委員会視察報告

令和元年10月23日～25日

広報広聴委員会（柴田誠・下田昇一郎・蓮池良正・濱洲大心・鶴戸継啓・五通俊作・門口徹）

## 【京都府木津川市】

議会だよりの編集・発行について

### 視察報告

木津川市では、広報編集委員会を定例会開会の約1週間前から計6回開催され、広報編集の企画・掲載記事の検討・割付け・校正のほか、取材の際は、同委員会の腕章をつけて行われていました。また、原稿は委員が各ページを担当し、一般質問や代表質問は質問議員、委員会報告は各委員長が作成されていました。表紙には、子どもたちの行事のようす、裏表紙には市民の意見を掲載するなどの工夫もされていました。

さらに、同委員会の行政視察を毎年実施されているほか、2年に1度開催される京都府内の市町村議会広報研修会にも毎回参加され、委員の広報編集技術の向上を図られていました。



## 【滋賀県甲賀市】

議会だよりの編集・発行について

### 視察報告

甲賀市では、広報特別委員会を定例会開会後から計5回開催され、広報編集のスケジュール調整・企画・ページ担当決め・掲載記事の検討・割付け・校正のほか、取材の際は、同委員会の腕章をつけて行われていました。また、原稿は、委員が各ページを担当し、一般質問や代表質問は質問議員が作成されていました。

そのほか、読者モニター会議として、市内高校の協力を得て「高校生モニター会議」を行い特集を組まれているほか、若者や女性モニター会議も行われており、さらに一般質問のQRコードやスマートフォン無料アプリへの掲載などの工夫もされていました。

### 視察を終えて

両市とも、委員自ら議会だよりの企画・取材・ページ担当・編集・校正を行われ、表紙には子どもたちの学校行事などの写真を多く使用されていました。また、文字数を少なくし、写真やイラストを入れ、読みやすいレイアウトにするなどの工夫を行い、幅広い世代に興味を持っていただき、手に取っていただくという考え方は、今後の本市議会だよりの編集・発行に大いに参考になるものでありました。

令和元年10月15日～16日

新風天草（中尾友二・田中茂・濱洲大心・前田正之）

## 【愛知県小牧市】小牧・岩倉エコルセンター

## 【三重県四日市市】四日市市クリーンセンター

### 視察報告

天草広域連合において、新たに建設が計画されているごみ焼却施設の先進地である両施設の視察を行いました。両施設とも、焼却処理ではなく熔融炉方式を採用しており、処理後に発生するのは、メタル(鉄分)とスラグであり、どちらも重機類のウエイト(メタル)・コンクリートや舗装材(スラグ)として100%再生利用されていました。

小牧市においては、施設内で処理時に発生した熱を隣接するプールの温水に利用され、四日市市の施設においては、施設内をテーマパーク化しアトラクションを備えた見学コースが作られていました。

### 視察を終えて

ごみ処理施設も見方を変えた活用をすれば、子ども達の社会科研修にもなるほか、観光にも活用できると感じました。天草広域連合の新施設においてもこれらを参考として、協力できればと考えます。



令和元年10月31日～11月2日

天政会（池田裕之・脇島義純・中村三千人・勝木幸生・鶴戸継啓）

## 【東京都武蔵野市】

## 武蔵野市クリーンセンター

### 視察報告

本施設は、市の中心地である市役所の前に整備されていたのが印象的でした。選定委員会(大学教授及び住民、市職員)において、場所や処理方式の選定を行い、全連続焼却式ストーカー炉を採用され、焼却灰でエコセメントを製造されていました。

施設見学の取り組みとして、屋上に野菜を育てられ、平成30年度は年間2万1,500人が来場されていました。本施設は、安心安全はもとより、焼却施設の役割を担うだけでなく、まちに溶け込み、まちにつながる施設を目指しておられました。

### 視察を終えて

本施設の最終ごみを最小限に抑え再利用が可能な資源に変える取り組みなど、本市における施設計画に提言していきます。



## 【埼玉県ふじみ野市】

## ふじみ野多目的グラウンド

### 視察報告

本施設は、柔軟に対応できる多目的スポーツグラウンドとして計画され、計画地の状況や課題、市民からの要望などを受けて検討をされ、ロングパイル人工芝(製品名:ドリームターフ)を導入し、平成27年4月に開設されておりました。この人工芝は稼働率が高く、それに伴い利用料金の収入も多く見込まれるとのことですが、管理面の問題点として、目視による除塵、2週間に1回、専用管理機において芝起こしやゴムチップの刷り込みが必要とのことでした。

なお、人工芝の張替え時期は使用状況などで相違も生じますが、10年間の耐用年数に準じて張替えを行うか現段階では未定とのことでしたが、今後の芝の状況を見て全面または一部張替えを検討されるとのことでした。

### 視察を終えて

本市で計画されているスポーツ拠点施設における人工芝についても、競技団体の皆さまのご意見を踏まえ、各種目に対応できるものを提言していきます。

### 【お詫びと訂正】

あまくさ市議会だより第30号(2019年11月号)15ページ、議会運営委員会行政視察先の県名に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

誤：岐阜県米原市 正：滋賀県米原市

※市ホームページには、訂正後のものを掲載しています。



# 高校生が議会を身近で体験

～熊本県立天草高等学校1年生が第4回定例会のようすを傍聴～

第3回定例会に引き続き、12月16日、午前と午後に分かれて、1年2組と4組の生徒の皆さんが本会議(一般質問)のようすを傍聴しました。

生徒の皆さんは、今回も議員と執行部との活発な議論を真剣に聞き入っていました。

ここでは、そのうち2人の感想を紹介します。



◀傍聴のようす

▲1年2組の生徒の皆さん



1年2組  
かねこまゆ  
金子 真由 さん

子育てや施設の整備、文化財の保存などの議論を聞いて、改善点や今後の展望が明確になっていくのがおもしろかったです。議員の皆さんは市民のことをよく考えているのだと感じました。

発言をする際、自分の体験や具体例を述べていて、とても分かりやすく、効果的だと思ったので、私も取り入れようと思いました。



1年4組  
むらかみともあき  
村上 智昭 さん

市議会の議論の中で、私が一番印象に残ったのは「天草の治水工事」についてです。「いつゲリラ的に大雨が降るか分からないので、訓練を設けて危機意識を持ってもらう」という意見に納得しました。市民の健康、安全、生命に関わることを決めるので、今回の傍聴で重要性を認識できました。自分も18歳になったらよく調べて投票しようと思います。

## 編集後記

14ページに掲載しましたとおり、広報広聴委員会では、木津川市(京都府)、甲賀市(滋賀県)へ行政視察を行いました。

両市議会との意見交換では、あまくさ市議会だよりは、全体的に文字数が多いため、写真やイラストを多く取り入れ、一般質問は内容を絞って掲載した方がよいなどの意見をいただきました。

そこで、今号から一般質問は文字数を制限することで簡潔に整理し、必ず写真やイラストを入れ、詳細については、市ホームページ内にあるインターネット中継の録画映像へリンクするQRコードを掲載しました。

また、開かれた議会への取り組みとして、本会議や常任委員会などへの各議員の出席状況もあわせて掲載しています。

今後も、より多くの市民の皆さまに手に取って読んでいただけるような紙面づくりに向けて取り組んでまいります。

(門口 徹)

### 広報広聴委員会



連池 良正



副委員長  
下田昇一郎



委員長  
柴田 誠



門口 徹



五通 俊作



鶴戸 継啓



濱洲 大心